



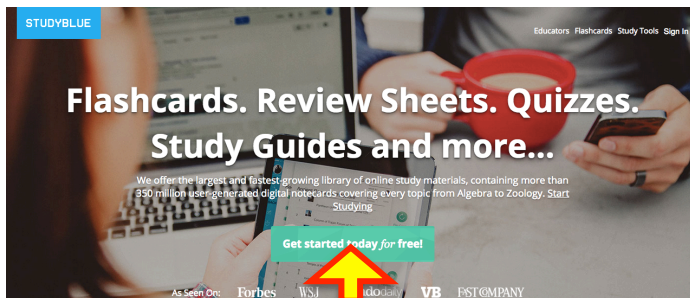
無料でかっこいい STUDYBLUE の

かっこいい始め方 : たったの⑦ステップ

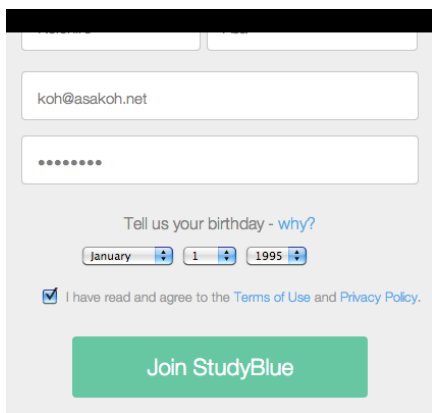
by ASAKOH

パソコンで studyblue.com にアクセス

① 真ん中の「Get started...」をクリック(初回のみ) 次回からは右上の「Sign in」で OK



② facebook ・ google アカウント ・ Email (下の小さい文字) の 3 つから好きな物で登録。

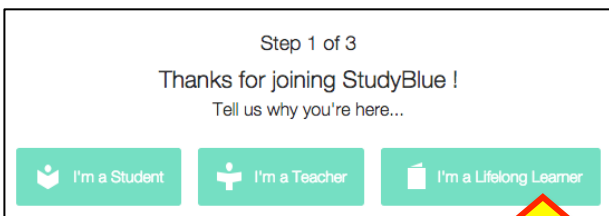


③ facebook と google の場合はログインへ。
Email の場合は、氏名(英語で) ・ メール ・ パスワード (自分で設定) を入力します。

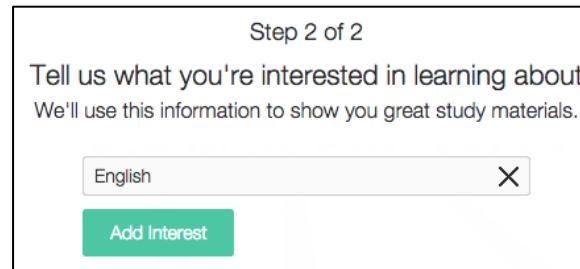
④ 誕生日を入力し、チェックボックスにチェック を入力

⑤ 下の「Join StudyBlue」をクリック

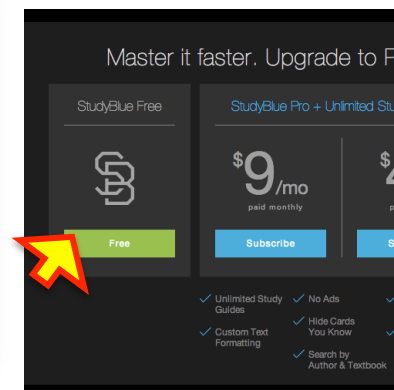
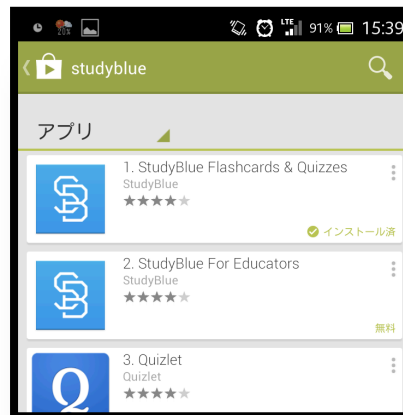
⑥ ★重要★ 下の画面で「I'm a student.」を選ぶと、次の画面で「アメリカの大学名」を聞かれて進めないで、右側の「I'm a Lifelong Learner(生涯学習者)」を選びましょう。



⑦ 「学習の目的は何？」と聞かれるので「English」と入れ「Add Interest」をクリック。



★ Studyblue は携帯アプリで同期可能！アプリだけでも学習可能。
iPhone= App store Android=Play ストア で「Studyblue」を検索。
↓こんな感じで 2 個出てきたら「StudyBlue Flashcards & Quizzes」の方を選びましょう。



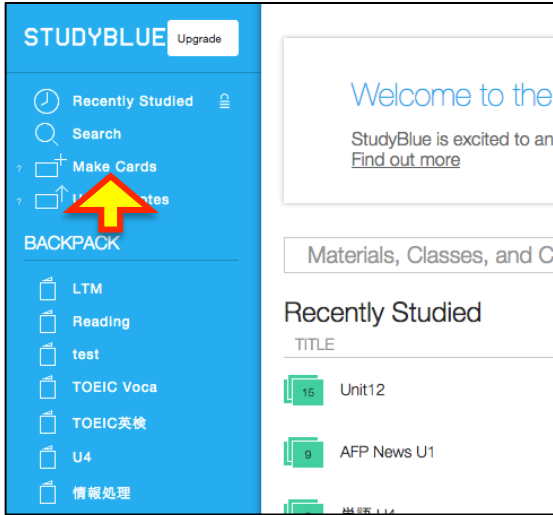
「有料プランと無料プラン」たまに Upgrade を聞かれますが無料プランでも十分使えます。



STUDYBLUE 学習の開始方法: たったの②ステップ

無事 Sign-in したら単語帳を作りましょう。

① 左側の「Make Cards」を押すと新しい単語帳を何個でも作れます。



② 上に英語、下に訳 で暗記カードをどんどん作成



キーボードの「tab キー」を押すと「英語」→「訳」→「次のカード」と進む！マッハ入力可。

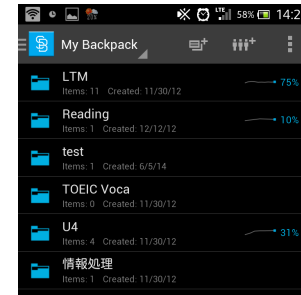
できあがったら左の「Done」をクリック。力作の単語帳にラブリーな題名を付け、フォルダ = 科目名を選んで Save しましょう！**フォルダを選ばないと save できませんので注意！** (後で単語の追加も削除も修正も自由にできます：もち携帯のアプリだけでも作成可能)。

※ Listen to Me!の Words & Phrases は光速コピーで持ち帰れるね。

そして**この瞬間。携帯アプリに同じものが同期されている(後は勉強するだけ)** という、瞬殺系暗記帳なのです。



アプリ学習方法: たぶん、書かなくても分かる級

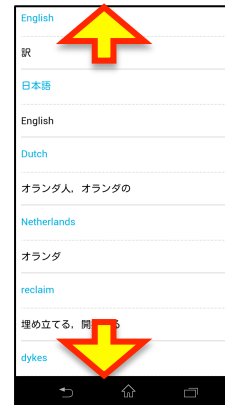


① 単語帳を開く。(iPhone アプリだと左下のデイバックに単語帳が入っています。デイバック=Backpack です。)

② I. 「Review Sheet」(リスト)で覚える→ II. 「Flip cards」で裏表学習、III. 「Take Quiz」で 4 択や True/False 問題を受ける。



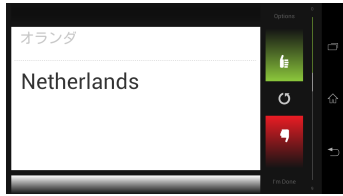
I. 暗記リスト



←スマホの上と下の端で隠しながら上下にスワイプして暗記。

紙だとリストは固定されているから、「flexible の次は term だったな、だから term は「用語」っていう意味だ」みたいな“覚えたつもりになる間違った暗記法になることも。Studyblue だと暗記リストをランダムにできたり、最近やったやつだけにできたりするので、ちゃんと暗記できる！

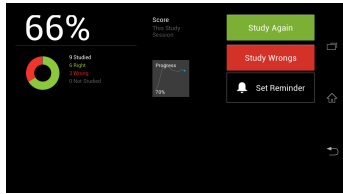
II. 暗記カード (おなじみの裏表)



- ←真ん中の○矢印で裏返す
- 覚えていたら緑
 - 覚えていなかったら赤
- ★右手 1 つでできるので満員電車も Study time!!!!

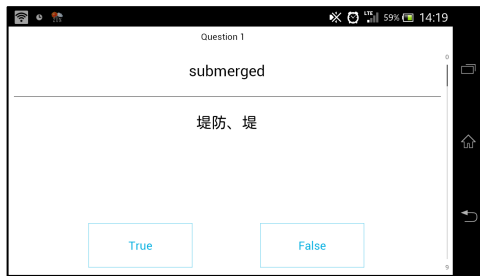
↓
学習終了

今何%覚えたかがすぐに出ます。前回の記録から浮き沈みのグラフも。



- ★もう一度 全部やり直す →赤「Study Again」
- ★間違えたのだけをやり直す →緑「Study Wrongs」
- ★～時間後にもう一度学習したい →「Set Reminder」(アプリがアラームで教えてくれる！)

今日はやる気が満ちあふれている！もっと挑戦したい！って時は III の「Take Quiz」へ！



True / False 問題



4 択問題

打ち込み問題は英語打ち込みに対応 (日本語打ち込みはX←アメリカのアプリなのでね (汗))
日本語側を first にしてテストを作るとスペルチェックが可能！

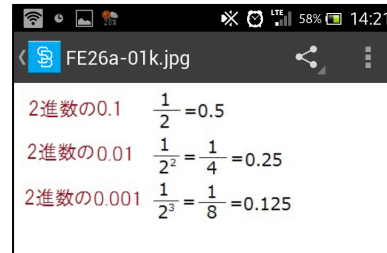
以上で学習は完了。



えーい、使いこなしてしましましょう、応用編

- 紙で書いた暗記リストって「Dutch の次は Netherlands だったなー」っていうような並び情報で、覚えた“**気**”になったりするよね？
→Studyblue なら、学習画面に入るときに、暗記リスト (Review sheet) でさえも一時的に「ランダム」に並びかえることができます。(最初の順番にも戻せます)
- 英語以外の科目にも使える？
→もちろん使えます。情報処理の用語の暗記、就活の SPI 試験対策、卒業後、社員研修で覚えなれない暗記物、出世に必要な資格試験の暗記などなど。

- 打ち込むのがめんどくさい / 打ち込めない数式 とか覚えなれないけど、
→アプリで単語帳を作成→横にカメラマークがあります。数式を写めれば完了 (ワオ)



←数式を写めて保存した画像ファイルの例

- フォルダを作ってまとめたい
左の「+Interest」でフォルダを作りましょう。単語帳を作って Done すると「Location」から選べるようになります。
- 一緒に資料もフォルダに入れておきたい。



→画像、excel、pdf などのファイルも保存できます。

- やっぱり紙の単語帳でめくるアクションが大切な方。
Studyblue で作った単語帳を「Print」→ハサミで切ったらいつもの単語帳に。

- 「お、覚える物が多すぎる…。今、何をどれぐらい勉強しているんだろう。」
→単語帳毎に今何%覚えたかの一覧が出るので「どれが今**やばいか**」が一目瞭然。

その他マニアックネタ

- ・友達と単語帳をシェアできるらしい。
- ・Set Reminder で 8 時間後にやるってことにしたのに、パイプに気付かずスルー (汗)→登録したメールに「追い込み」が来るよ。

Excel で作ったリストを一気に流し入れることも可能。

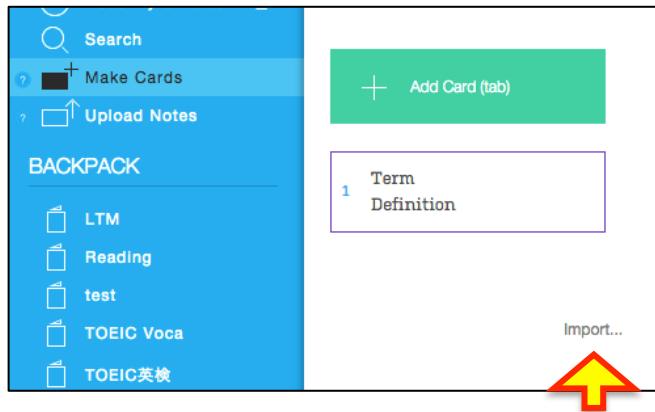
Excel はこんなかんじ↓で A 列に英語、B 列に日本語（逆も可能）にして保存。A をカードの表、その横をカードの裏として自動で認識してくれます。

	A	B
1	book	本
2	table	机
3	bakery	パン屋
4	blackout	停電
5		

その Excel を取り込みます。

Studyblue の画面

Make cards → import （真ん中あたり）の小さい文字↓



Import でそのファイルを指定したら一気に単語帳が出来上がります。
（Done をクリックして保存へ）